

「国語に関する世論調査」におけるいわゆる「コミュニケーション」に関する問い（抜粋）

◆ 概 要

大きく以下の三つに分類し、報道発表の際に使用した資料（概要版）から一部を抜粋し、掲載する。

- I 話し方やコミュニケーションについての意識
- II 外国人とのコミュニケーション
- III 国語力について

報道発表資料（概要版）の掲載後、I～IIIに関わる「国語に関する世論調査」の過去問一覧を掲載する。

◆ 結 果

- 備考：①、点線枠囲みの中にある文頭の数字は、後掲、過去問一覧の形式番号と一致。
 ②、平成22年度～平成26年度（直近5年）の報道発表資料を「◆結果」に掲載。
 ③、全ての設問について、報道発表資料になっているわけではない。
 ④、複数回調査をしている設問の場合、最新の報道発表資料を掲載。

I 話し方やコミュニケーションについての意識

6 初めて会った人と話をすることについて、どのように感じるか
 —「苦手である（計）」は5割台半ばで、4割強の「得意である（計）」を上回る—

〔全体〕

初めて会った人と話をすることについて、どのように感じるかを尋ねた。

「得意である」と「どちらかと言えば得意である」を選んだ人を合わせた「得意である（計）」は42.9%、「どちらかと言えば苦手である」と「苦手である」を合わせた「苦手である（計）」は55.5%であった。

（数字は%）

得意である（計）		苦手である（計）		分からない
42.9		55.5		
得意である 7.5	どちらかと言えば得意である 35.4	どちらかと言えば苦手である 46.5	苦手である 9.0	1.6

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「得意である（計）」の割合は、30代だけ4割を切っている。また、「苦手である（計）」の割合は、30代で6割弱となっており、他の年代より高い。

「苦手である」を選んだ人の割合は16～19歳で20.5%、20代で12.6%と、他の年代に比べて高くなっている。

	得意である	どちらかと言えば得意である	得意である 計	どちらかと言えば苦手である	苦手である	苦手である 計	分からない
16～19歳	6.4	39.7	46.2	33.3	20.5	53.8	—
20代	8.0	38.3	46.3	40.0	12.6	52.6	1.1
30代	6.9	32.4	39.4	51.0	8.1	59.1	1.5
40代	6.5	39.3	45.7	47.2	6.7	54.0	0.3
50代	9.1	36.6	45.7	47.4	5.8	53.2	1.1
60歳以上	7.4	33.2	40.6	47.0	9.7	56.7	2.7

（数字は%）

**7 誰かの話を聞いていて、その人の言いたかったことと、
自分の受け取ったこととが食い違っていたという経験があるか、ないか**
— 6割台半ばの人が「ある（計）」と回答 —

〔全体・年齢別〕

誰かの話を聞いていて、その人の言いたかったことと、自分の受け取ったこととが食い違っていたという経験があるか、それとも、ないかを尋ねた。

「よくある」と「時々ある」を選んだ人を合わせた「ある（計）」は66.5%、「余りない」と「ない」を合わせた「ない（計）」は33.3%であった。

年齢別に見ると、「ある（計）」の割合は、20代以下で8割前後となっている。また、30～50代では7割前後、60歳以上では、約6割となっている。

(数字は%)

	よくある	時々ある	ある（計）	余りない	ない	ない（計）	分からない
全 体	9. 2	57. 2	66. 5	26. 8	6. 5	33. 3	0. 2
16～19歳	6. 8	74. 3	81. 1	14. 9	4. 1	18. 9	—
20 代	12. 6	65. 1	77. 7	20. 6	1. 7	22. 3	—
30 代	5. 8	65. 3	71. 1	26. 1	2. 7	28. 9	—
40 代	4. 6	64. 5	69. 1	26. 6	4. 0	30. 6	0. 3
50 代	10. 5	59. 8	70. 3	24. 8	5. 0	29. 7	—
60歳以上	11. 0	48. 7	59. 7	29. 8	10. 1	39. 9	0. 4

8 誰かに話ををしていて、自分の言いたかったことが、相手にうまく伝わらなかったという経験があるか、ないか
— 6割以上の人が「ある（計）」と回答 —

〔全体・年齢別〕

誰かに話ををしていて、自分の言いたかったことが、相手にうまく伝わらなかったという経験があるか、それとも、ないかを尋ねた。

「よくある」と「時々ある」を選んだ人を合わせた「ある（計）」は63.4%、「余りない」と「ない」を合わせた「ない（計）」は36.3%であった。

年齢別に見ると、「ある（計）」の割合は、16歳から50代までは、6割台半ばから7割前後となっている。また、60歳以上では、5割台半ばとなっている。

(数字は%)

	よくある	時々ある	ある（計）	余りない	ない	ない（計）	分からない
全 体	11. 7	51. 8	63. 4	28. 9	7. 4	36. 3	0. 2
16～19歳	18. 9	50. 0	68. 9	27. 0	4. 1	31. 1	—
20 代	15. 4	54. 9	70. 3	24. 6	5. 1	29. 7	—
30 代	13. 4	57. 7	71. 1	26. 1	2. 7	28. 9	—
40 代	7. 3	59. 3	66. 7	29. 4	4. 0	33. 3	—
50 代	10. 5	58. 2	68. 7	25. 4	5. 9	31. 3	—
60歳以上	11. 7	44. 9	56. 6	31. 8	11. 1	42. 9	0. 5

9 人とのコミュニケーションにおいて、難しいと感じること

— 4割の人が「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と回答 —

〔全体〕

人とのコミュニケーションにおいて、「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」のどちらが難しいと感じるかを尋ねた。

「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と回答した人が4割強、「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」と回答した人が3割台半ばという結果であった。また、「相手や状況によって異なるので、どちらとも言えない」と回答した人が1割台後半であった。

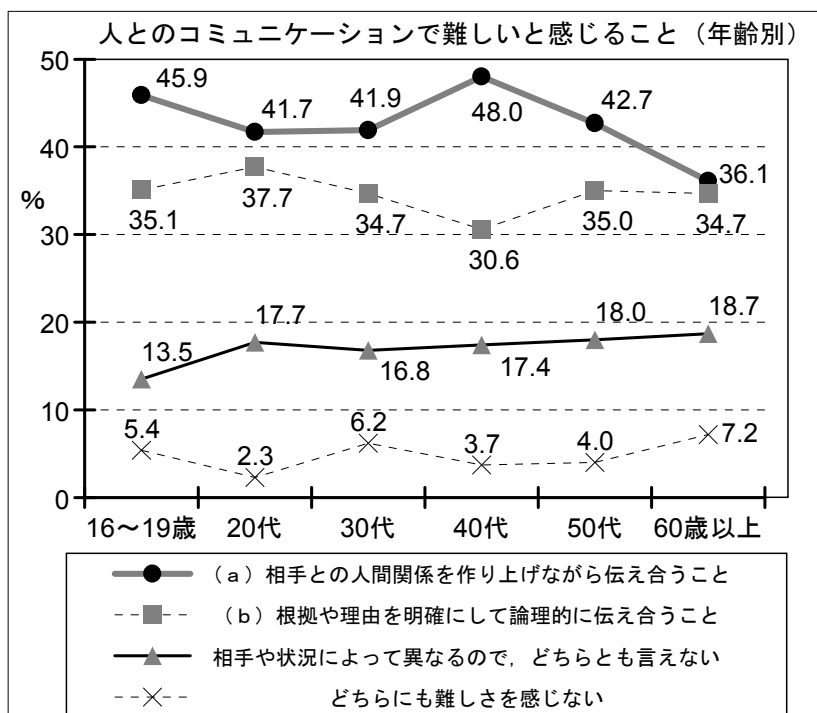
- ・「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」の方が難しい……………40.5%
- ・「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」の方が難しい……………34.4%
- ・相手や状況によって異なるので、どちらとも言えない……………17.9%
- ・どちらにも難しさを感じない……………5.6%
- ・分からない……………1.7%

〔年齢別〕

年齢別に見ると、右のグラフのとおり。全ての年代で「(a) 相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」を難しいと感じる人の割合が高くなっている。特に、40代では4割台後半となっており、他の年代に比べ高い。一方、60歳以上では、3割台半ばとなっており、他の年代に比べ低くなっている。

また、「(b) 根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」を難しいと感じる人の割合は、全ての年代で3割台となっている。

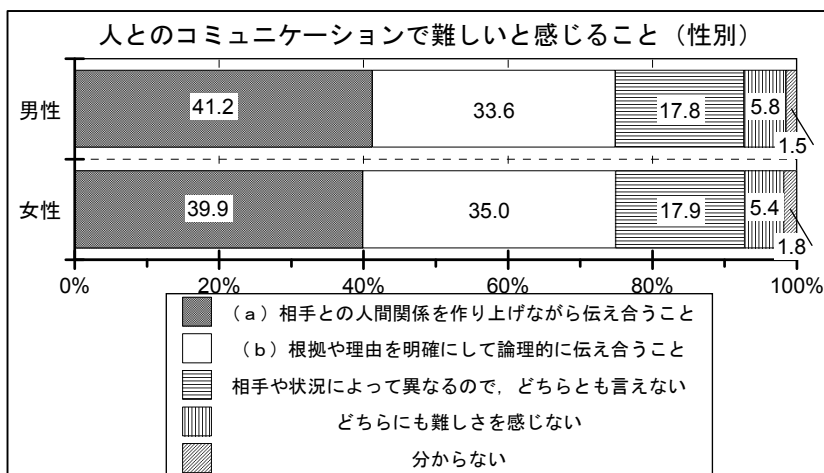
なお、「どちらにも難しさを感じない」を選んだ人の割合は、どの年代でも1割に達していないが、中でも20代では2.3%と、他の年代に比べて低くなっている。



〔性別〕

性別に見ると、右のグラフのとおり。

男女間で、大きな差はない。



10 人とのコミュニケーションにおいて、重視すること

— 6割台半ばの人が「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と回答 —

〔全体〕

人とのコミュニケーションにおいて、「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」のどちらを重視するかを尋ねた。

「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」と回答した人が6割台半ば、「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」と回答した人が1割台半ばという結果であった。また、「相手や状況によって異なるので、どちらか一つには絞れない」と回答した人も1割台半ばであった。

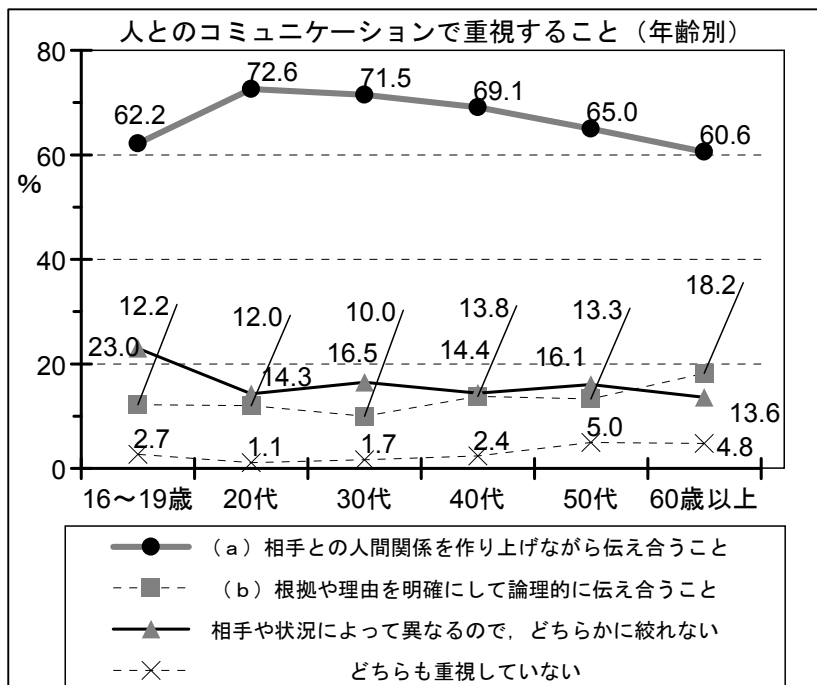
- ・「相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」の方を重視する……………65. 1%
- ・「根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」の方を重視する……………15. 0%
- ・相手や状況によって異なるので、どちらか一つには絞れない……………14. 9%
- ・どちらも重視していない……………3. 7%
- ・分からない……………1. 4%

〔年齢別〕

年齢別に見ると、右のグラフのとおり。全ての年代で「(a) 相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」を重視すると答えた人の割合が高くなっている。特に、20代から40代では7割前後となっており、他の年代に比べて高い。

また、「(b) 根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」を重視していると答えた人の割合はどの年代でも1割台となっている。そのうち、60歳以上では、18.2%となっており、他の年代に比べて高い。

なお「相手や状況によって異なるので、どちらか一つには絞れない」と回答した人の割合は、16～19歳で2割台前半となっており、他の年代に比べて高い。



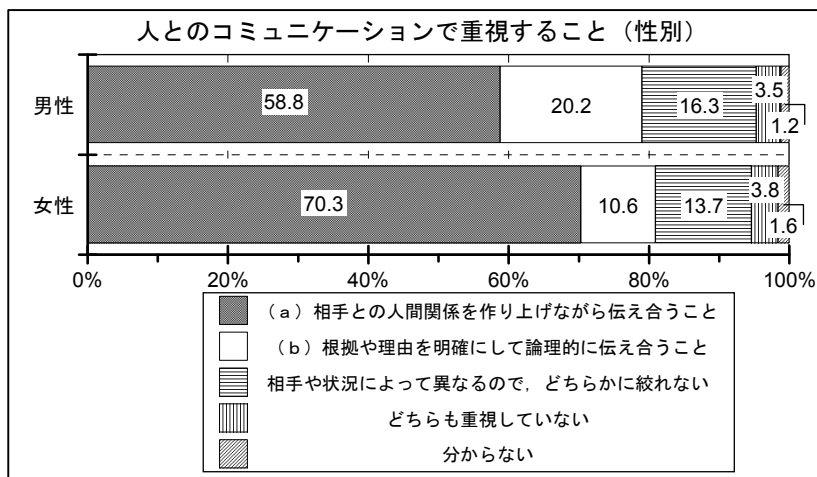
〔性別〕

性別に見ると、右のグラフのとおり。

「(a) 相手との人間関係を作り上げながら伝え合うこと」を選んだ人の割合は、女性

(70.3%)の方が男性(58.8%)より12ポイント高い。

一方、「(b) 根拠や理由を明確にして論理的に伝え合うこと」を選んだ人の割合は、男性(20.2%)の方が女性(10.6%)より10ポイント高い。



1 1 誰かと話をするときに、相手から不快感を感じるのはどのようなことか

— 男性は「敬語の使い方など言葉遣いに問題がある」、女性は「相手ばかりが話している」が多い —

〔全体・性別〕

誰かと話をするときに、相手から不快感を感じるのはどのようなことかを尋ねた（選択肢の中から三つまで選択）。

全体では、「話したり聞いたりするときの態度が悪い」（32.3%）、「話が理解されず会話がかみ合わない」（32.2%）、「相手ばかりが話している」（31.0%）を選んだ人の割合が3割を超え、他に比べて高い。続いて「敬語の使い方など言葉遣いに問題がある」（29.8%）「言葉や態度の裏に、隠された意図を感じる」（28.5%）が3割弱となっている。

性別に見ると、男性で最も割合の高かったのは「敬語の使い方など言葉遣いに問題がある」（33.5%）、女性では「相手ばかりが話している」（33.1%）であった。また、男性の方が女性よりも「話の組立てや流れに問題がある」で8ポイント、「敬語の使い方など言葉遣いに問題がある」で7ポイント高くなっており、女性の方が男性よりも「相手ばかりが話している」と「言葉や態度の裏に、隠された意図を感じる」で5ポイント高くなっている。

	全 体	男 性	女 性
・話したり聞いたりするときの態度が悪い……………	32.3%	32.9%	31.8%
・話が理解されず会話がかみ合わない……………	32.2%	31.4%	32.9%
・相手ばかりが話している……………	31.0%	28.6%	33.1%
・敬語の使い方など言葉遣いに問題がある……………	29.8%	33.5%	26.7%
・言葉や態度の裏に、隠された意図を感じる……………	28.5%	25.9%	30.7%
・話の内容に問題がある……………	21.3%	23.0%	20.0%
・視線を合わせようとしない……………	17.9%	17.1%	18.6%
・話の組立てや流れに問題がある……………	13.7%	18.0%	10.0%
・話す速さに問題がある……………	12.4%	14.5%	10.7%
・声の質や大きさに問題がある……………	10.5%	10.0%	10.9%
・相手が余り話さない……………	9.0%	8.3%	9.6%
・不快に感じることはほとんどない……………	8.5%	6.9%	9.9%

〔年齢別〕

年齢別に見て、年代間の差が比較的大きい5項目について見ると、右のグラフのとおり。

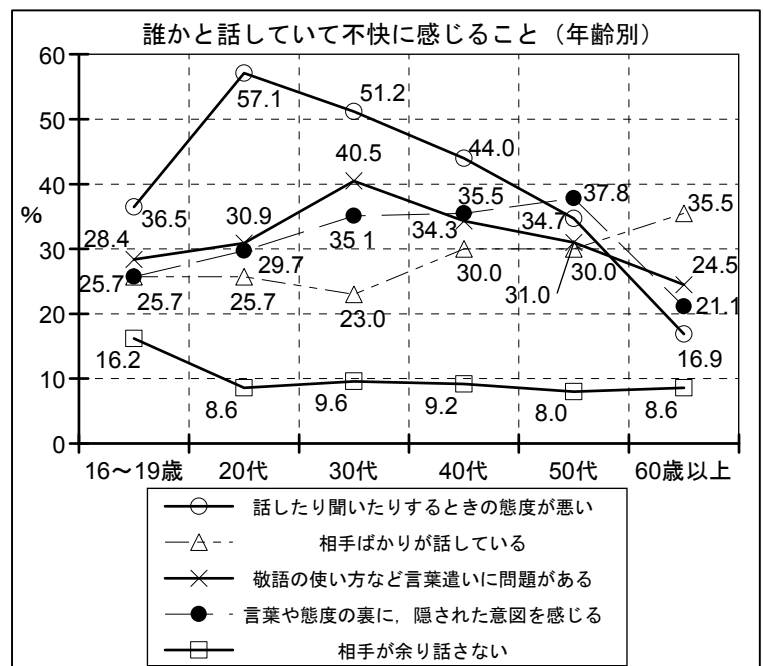
「話したり聞いたりするときの態度が悪い」は、20代から40代で選択した人の割合が4割台半ばから5割台後半と、他の年代と比べて高いが、一方、60歳以上では1割台半ばとなっている。

「相手ばかりが話している」は60歳以上で3割台半ばと、他の年代に比べて高い。

「敬語の使い方など言葉遣いに問題がある」は30代で4割、40代で3割台半ばと、他の年代に比べて高い。

「言葉や態度の裏に、隠された意図を感じる」は、30代から50代で3割台半ばから3割台後半と、他の年代に比べて高いが、一方、60歳以上では2割強となっている。

「相手が余り話さない」は16～19歳で1割台半ばと、他の年代に比べて高い。

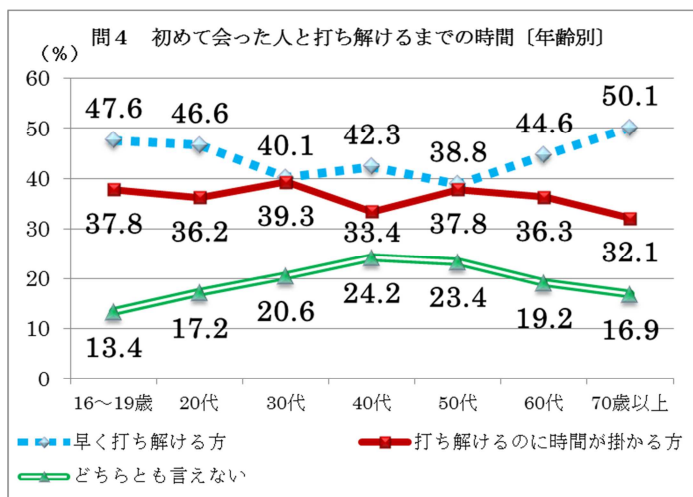


1 2 初めて会った人とでも早く打ち解ける方が、時間が掛かる方が

—「どちらかと言えば、早く打ち解ける方」が、全ての年代で高い—

(数字は%)

どちらかと言えば 早く打ち解ける方	どちらかと言えば 打ち解けるのに時間が 掛かる方	どちらとも言えない	分らない
44.3	35.5	20.0	0.2



〔全体〕

初めて会った人とでも早く打ち解ける方だと思うか、打ち解けるまでに時間が掛かる方だと思うかを尋ねた。

「どちらかと言えば、早く打ち解ける方」の割合が44.3%、「どちらかと言えば、打ち解けるのに時間が掛かる方」の割合が35.5%、「どちらとも言えない」の割合が20.0%となっている。

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「どちらかと言えば、早く打ち解ける方」の割合は、全ての年代で、他の選択肢の割合を上回っている。そのうち、70歳以上で50.1%と最も高く、50代で38.8%と最も低くなっている。

一方、「どちらかと言えば、打ち解けるのに時間が掛かる方」の割合は、全ての年代で3割台となっている。

1 3 相手から、どのように接してほしいか

— 同僚や近所の人などに対して、及び、初めて会った人に対して、「余計なことをされたり、立ち入られたくない」と、4割台が回答 —

(数字は%)

	どちらかと言えば 相手に理解されたい、 親しみを持ってもらいたいという 気持ち強い	どちらかと言えば 相手に余計なことを されたり、立ち入られ たりしたくないという 気持ち強い	どちらとも言えない	分らない
親しい友人 に対して	75.6	13.1	11.0	0.3
同僚や近所の人 などに対して	38.0	42.8	19.0	0.2
初めて会った人 に対して	20.3	45.8	33.3	0.6

〔全体〕

人との関係において、相手に理解されたい、親しみを持ってもらいたいという気持ちと、相手に余計なことをされたり、立ち入られたりしたくないという気持ちとのどちらを強く感じる方だと思うか、「親しい友人に対して」、「同僚や近所の人に対して」、「初めて会った人に対して」のそれぞれについて尋ねた。

「親しい友人に対して」では、「どちらかと言えば、相手に理解されたい、

親しみを持ってもらいたいという気持ち強い」の割合は75.6%となっている。

「同僚や近所の人などに対して」及び「初めて会った人に対して」では、「どちらかと言えば、相手に余計なことをされたり、立ち入られたりしたくないという気持ち強い」の割合が、共に4割台となっている。

1 4 相手に対して、どのような気持ちで接するか

— 同僚や近所の人などに対して、及び、初めて会った人に対して、「余計なことをしたり、立ち入ったりして不快に思われたくない」と、約5割が回答 —

(数字は%)

〔全体〕

	どちらかと言えば、相手を理解し、相手と親しくなりたいという気持ち強い	どちらかと言えば、相手に余計なことをしたり、立ち入ったりして不快に思われたくないという気持ち強い	どちらとも言えない	分からない
親しい友人に対して	75.0	16.0	8.7	0.3
同僚や近所の人などに対して	31.9	50.9	17.0	0.2
初めて会った人に対して	16.9	49.0	33.4	0.6

人との関係において、相手を理解し、相手と親しくなりたいという気持ちと、相手に余計なことをしたり、立ち入ったりして不快に思われたくないという気持ちとのどちらを強く感じる方だと思うか、「親しい友人に対して」、「同僚や近所の人に対して」、「初めて会った人に対して」のそれぞれについて尋ねた。

「親しい友人に対して」は、「どちらかと言えば、相手を理解し、相手と親しくなりたいという気持ち強い」の割合が75.0%となっている。

「同僚や近所の人などに対して」及び「初めて会った人に対して」は「どちらかと言えば、相手に余計なことをしたり、立ち入ったりして不快に思われたくないという気持ち強い」の割合が、共に約5割となっている。

1 5 人間関係を築くために、相手の個人的なことを知る必要があると思うか

— 親しい友人に対して、「知る必要がある」と30代以下で7割弱から7割台半ばが回答 —

(数字は%)

〔全体〕

	どちらかと言えば、相手の個人的なことをよく知ることが必要だと思う	どちらかと言えば、相手の個人的なことは知らなくてもよいと思う	どちらとも言えない	分からない
親しい友人に対して	58.1	27.1	14.4	0.3
同僚や近所の人などに対して	21.3	59.1	19.2	0.4
初めて会った人に対して	9.0	59.9	30.5	0.6

気持ちの良い人間関係を築くには、相手の個人的なことをよく知ることが必要だと思うか、相手の個人的なことは知らなくてもよいと思うか、「親しい友人に対して」、「同僚や近所の人に対して」、「初めて会った人に対して」のそれぞれについて尋ねた。

「親しい友人に対して」では、「どちらかと言えば、相手の個人的なことは知らなくてもよいと思う」の割合は27.1%となっている。

一方、「同僚や近所の人などに対して」及び「初めて会った人に対して」では、「どちらかと言えば、相手の個人的なことは知らなくてもよいと思う」の割合は、共に6割弱となっている。

1 6 人と接する際、相手や場面に合わせて態度を変えようとする方か

—「相手や場面に合わせて態度を変える方」と、20代以下で6割台が回答—

(数字は%)

どちらかと言えば 相手や場面に合わせて態度 を変えようとする方	どちらかと言えば いつも同じような態度 でしようとする方	どちらとも言えない	分らない
40.8	48.4	10.6	0.2

〔全体〕

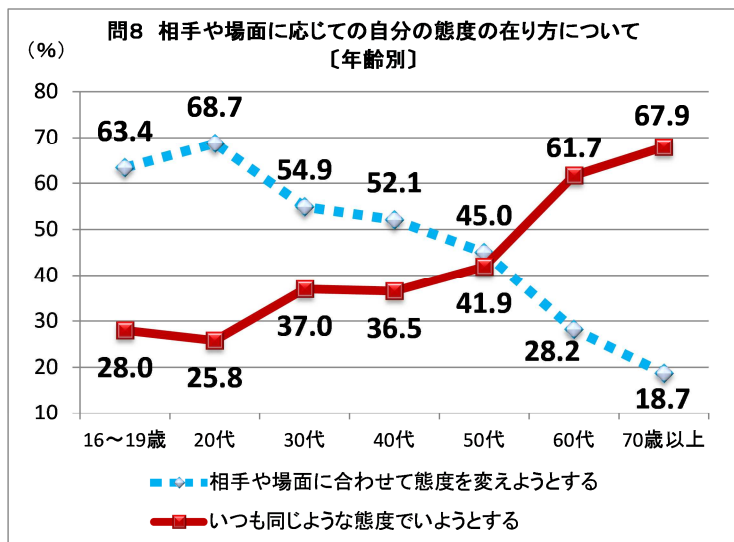
人と接するに当たって、相手や場面に合わせて態度を変えようとする方か、いつも同じ態度でしようとする方かを尋ねた。

「どちらかと言えば、いつも同じような態度でしようとする方」(48.4%)の割合が、「どちらかと言えば、相手や場面に合わせて態度を変えようとする方」(40.8%)を、8ポイント上回っている。

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「どちらかと言えば、相手や場面に合わせて態度を変えようとする方」の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向が見られ、20代以下で6割台となっている。

一方、「どちらかと言えば、いつも同じような態度でしようとする方」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向が見られ、60代以上で6割台となっている。



1 7 相手や場面に合わせて態度を変える人と、同じ態度でいる人のどちらが好ましいか

—「いつも同じような態度でいる方」が、年齢が上がるほど高くなる傾向—

(数字は%)

どちらかと言えば 相手や場面に合わせて態度 を変える方	どちらかと言えば いつも同じような態度で いる方	どちらとも言えない	分らない
24.6	58.6	16.5	0.3

〔全体〕

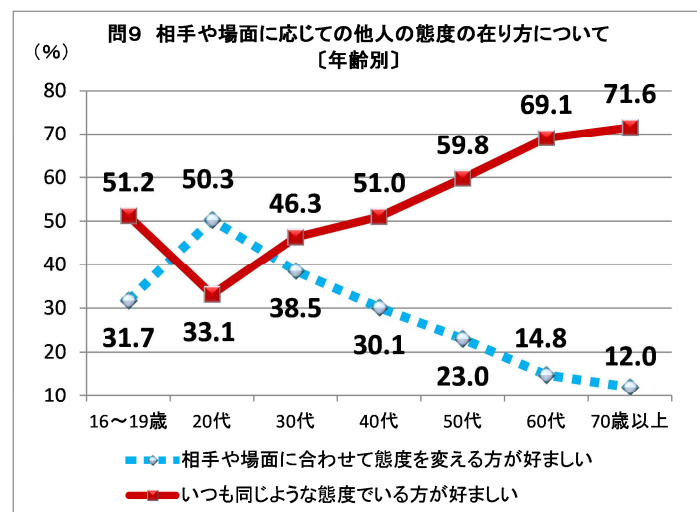
ほかの人が相手や場面に合わせて態度を変えるのと、相手や場面に関係なくいつも同じような態度でいるのとでは、どちらを好ましいと感じるかを尋ねた。

「どちらかと言えば、いつも同じような態度でいる方」(58.6%)の割合が、「どちらかと言えば、相手や場面に合わせて態度を変える方」(24.6%)を、34ポイント上回っている。

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「どちらかと言えば、相手や場面に合わせて態度を変える方」の割合は、20代で50.3%と最も高く、20代以降では年代が上がるにつれて割合が低くなり、70歳以上で12.0%となっている。

一方、「どちらかと言えば、いつも同じような態度でいる方」の割合は20代で33.1%と最も低く、20代以降では年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られ、60代以上で約7割となっている。



なり、60代以上で約7割となっている。

Ⅱ 外国人とのコミュニケーション

27 日本に来て間もない外国人と日本語で会話をするとき、どのような配慮が必要か — 6割前後の人が「ゆっくりと話すように心掛ける」「なるべく簡単な言葉を選ぶ」を選択 —

〔全体〕

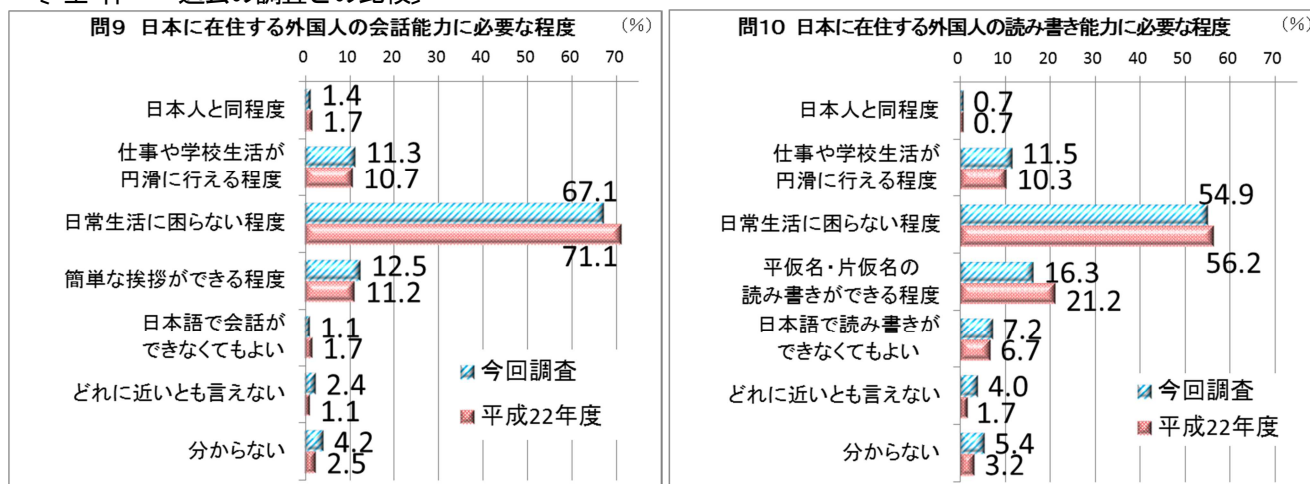
日本に来て、間もない外国人と日本語で会話をするとしたら、どのような配慮をする必要があると思うかを尋ねた（当てはまるものは全て選択）。

「ゆっくりと話すように心掛ける」（61.2%）と答えた人の割合が最も高く、以下、「なるべく簡単な言葉を選ぶ」（57.8%）、「必要に応じて、絵や記号を使ったり、身振り・手振りを交えて話す」（48.8%）の順となっている。

・ゆっくりと話すように心掛ける……………	61	2%
・なるべく簡単な言葉を選ぶ……………	57	8%
・必要に応じて、絵や記号を使ったり、 身振り・手振りを交えて話す……………	48	8%
・はっきりと発音するように心掛ける……………	34	5%
・必要に応じて英語を交えて話す……………	31	3%
・なるべく短い言葉で話す……………	30	2%
・相手がよく理解できるまで繰り返し話す……………	29	4%
・必要に応じてその外国人の母語を交えて話す……………	6	8%
・特に配慮する必要はない……………	3	1%

28, 29 日本に在住する外国人は、どの程度日本語の会話ができるといいと思うか。また、どの程度日本語の読み書きができるといいと思うか — 「日常生活に困らない程度」が、それぞれ最も高い —

〔全体・過去の調査との比較〕



問9では、日本に住んでいる外国人はどの程度日本語の会話ができるといいと思うか、問10では、日本に住んでいる外国人はどの程度日本語の読み書きができるといいと思うかを尋ねた。

「日常生活に困らない程度」が、会話能力については67.1%、読み書き能力については54.9%と、それぞれ最も高くなっている。

過去の調査結果（平成22年度）と比較すると、読み書き能力について「平仮名・片仮名の読み書きができる程度」は5ポイント減少しているが、「仕事や学校生活が円滑に行える程度」は1ポイント増加している。また、「どれに近いとも言えない」、「分からない」は、会話能力についても読み書き能力についても、増加している。

Ⅲ 国語力について

30 日本人の日本語能力が低下しているという意見について、どう思うか

—「低下していると思う(計)」と考える人が、「読む力」「書く力」「話す力」「聞く力」の全てで多数 —

〔全体・過去の調査との比較〕

最近、日本人の日本語能力が低下しているという意見があるが、そのことについてそう思うか、それともそう思わないかを「読む力」「書く力」「話す力」「聞く力」のそれぞれについて尋ねた。

「低下していると思う(計)」は、「書く力」で87.0%、「読む力」で78.4%と特に高く、また、「話す力」「聞く力」もそれぞれ6割以上となっている。

過去の調査結果(平成13年度調査)と比較すると、「書く力」を除く全ての力で「低下していると思う(計)」の割合が増加しており、中でも「読む力」は10ポイント増となっている。

(1) 読む力

(数字は%)

低下していると思う(計)		変わっていないと思う	むしろ向上していると思う	分からない
78.4【68.8】				
非常に低下していると思う 20.2【17.6】	やや低下していると思う 58.2【51.2】	16.6 【25.4】	1.3 【1.4】	3.7 【4.4】

(2) 書く力

低下していると思う(計)		変わっていないと思う	むしろ向上していると思う	分からない
87.0【88.1】				
非常に低下していると思う 36.8【37.5】	やや低下していると思う 50.2【50.6】	8.9 【7.7】	1.0 【0.6】	3.1 【3.6】

(3) 話す力

低下していると思う(計)		変わっていないと思う	むしろ向上していると思う	分からない
69.9【59.2】				
非常に低下していると思う 19.5【16.7】	やや低下していると思う 50.5【42.5】	23.9 【33.1】	3.2 【3.9】	2.9 【3.9】

(4) 聞く力

低下していると思う(計)		変わっていないと思う	むしろ向上していると思う	分からない
62.1【57.0】				
非常に低下していると思う 13.2【14.2】	やや低下していると思う 48.8【42.8】	33.1 【35.9】	1.8 【2.9】	3.1 【4.2】

【 】内は平成13年度調査

3 5 社会全般の国語に関わる知識や能力には、どのような課題があるか — 「敬語等の知識」を挙げた人の割合が最も高い —

〔全体・過去の調査との比較〕

国語に関わる知識や能力について、社会全般においてどのような点に課題があると思うかを尋ねた（選択肢の中から三つまで回答）。結果は以下のとおり。参考に、過去の調査結果（平成 14, 19 年度調査）を併せて示した。（ただし、平成 14, 19 年度は「日本人の国語力について、社会全般においてどのような点に課題があると思うか」という言い方で尋ねた。）

課題として「敬語等の知識」を挙げた人の割合が最も高く 3 割台半ばであった。続いて、「説明したり発表したりする能力」「他人の話を正確に聞く力」「考えをまとめ文章を構成する能力」「相手の立場や場面を認識する能力」が 2 割台半ばで続いている。

	平成24年度調査	平成19年度調査	平成14年度調査
・敬語等の知識……………	3 5. 6 %	4 2. 1 %	3 5. 3 %
・説明したり発表したりする能力……………	2 6. 6 %	2 9. 7 %	3 3. 1 %
・他人の話を正確に聞く力……………	2 4. 8 %	3 6. 8 %	(選択肢なし)
・考えをまとめ文章を構成する能力……………	2 4. 1 %	2 2. 7 %	3 6. 0 %
・相手の立場や場面を認識する能力……………	2 3. 8 %	3 1. 6 %	1 1. 5 %
・漢字や仮名遣い等の文字や表記の知識……………	2 2. 3 %	2 8. 0 %	2 9. 0 %

3 6 自分自身の国語に関わる知識や能力には、どのような課題があるか — 社会で求められる実務能力を重視する傾向 —

〔全体・過去の調査との比較〕

国語に関わる知識や能力について、回答者自身は、どのような点で自信を持ってないかを尋ねた（選択肢の中から三つまで回答）。結果は以下のとおり。参考に、過去の調査結果（平成 14, 19 年度調査）を併せて示した。（ただし、平成 14, 19 年度は「日本人の国語力について、あなた自身は、どのような点で自信を持ってないか」という言い方で尋ねた。）

「説明したり発表したりする能力」を挙げた人の割合が最も高く 3 割弱、続いて「考えをまとめ文章を構成する能力」が 2 割台後半で続いている。主に、社会で求められる実務的な能力を自身の課題として挙げる傾向があり、このことは過去の調査から変わっていない。

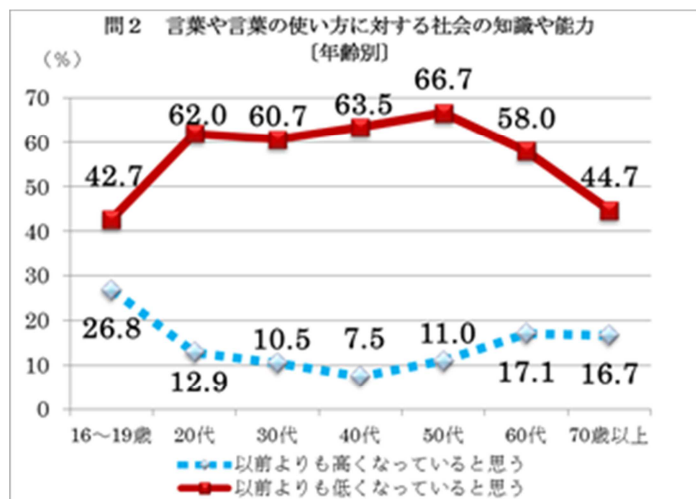
	平成24年度調査	平成19年度調査	平成14年度調査
・説明したり発表したりする能力……………	2 9. 6 %	3 2. 5 %	3 0. 6 %
・考えをまとめ文章を構成する能力……………	2 7. 8 %	2 9. 8 %	3 6. 1 %
・漢字や仮名遣い等の文字や表記の知識……………	1 9. 2 %	2 9. 1 %	2 7. 4 %
・敬語等の知識……………	1 8. 3 %	2 5. 6 %	2 1. 9 %
・論理的に考える能力……………	1 7. 6 %	1 7. 7 %	1 9. 0 %
・分析して要点をつかむ能力……………	1 7. 6 %	1 5. 5 %	1 7. 0 %

3 8 言葉や言葉の使い方に関する社会全体の知識や能力は、どうなっていると思うか

—「以前よりも低くなっていると思う」が、20代～50代で、6割以上—

(数字は%)

以前よりも高くなっていると思う	以前よりも低くなっていると思う	以前と変わらないと思う	分からない
13.7	57.3	25.0	3.9



2割台半ばとなっている。

〔全体〕

言葉や言葉の使い方に関する社会全体の知識や能力が、以前よりも高くなっていると思うか、低くなっていると思うか、以前と変わらないと思うかを尋ねた。

「以前よりも低くなっていると思う」(57.3%)の割合が、「以前よりも高くなっていると思う」

(13.7%)を44ポイント上回っている。「以前と変わらないと思う」の割合は25.0%となっている。

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「以前よりも低くなっていると思う」の割合は、20代～50代で6割台となっている。また、「以前よりも高くなっていると思う」の割合は、同じく20代～50代で1割前後となっている。

一方、16歳～19歳では「以前よりも高くなっていると思う」(26.8%)の割合が他の年代より高く、

◆ 過 去 問 一 覧

注…原則，選択肢以外の設問全文を掲載。一部，選択肢も掲載した。

I 話し方やコミュニケーションについての意識

形式 番号	問 意	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
1	ここに挙げた(1)から(3)について，あなたは(a)と(b)のどちらに当てはまると思いますか。 (1) (a) 自分の考えや意見を積極的に表現する方だ (b) 自分の考えや意見を表現することは消極的だ (2) (a) 人と意見が食い違っているときには，納得がいくまで議論したい方だ (b) 人と意見が食い違っているときには，なるべく事を荒立てないで収めたい方だ (3) (a) 人に話をするときには，筋道を立てて分かりやすく話すことを心掛ける方だ。 (b) 人に話をするときには，相手の気持ちになじむように，やわらかく話をすることを心掛ける方だ			○											○						
2	あなたは，ふだん，ここに挙げた(1)から(4)のようにしますか。それぞれについて，「する」「しない」でお答えください。 (1) 人に贈物をするときには，「つまらないものですが」などと謙遜する (2) 人に贈物をするときには，「苦労して選びました」「とてもおいしいんですよ」などと，その物の良さを表す言葉を添える (3) 会議などで提案するときには，「もし皆さんがよろしかったら…したいと思いますが」などと言い，自分を強く出さないようにする。 (4) 会議などで提案をするときには，「私はこうすべきだと思います」などと，自分の考えをはっきり言う。			○											○						
3	あなたは人と付き合うときに，どちらかと言えば，ここに挙げた(1)と(2)のどちらのほうを重視していますか。 (1) 互いの考えていることをできるだけ言葉に表して伝え合うこと (2) 考えていることを全部は言わなくても，互いに察し合って心を通わせること				○										○						
4	日本人同士の会話は，往々にして自分の意見や考えを最後まで言わず，互いの察し合いで成り立つことがあります。最近，日本人の「察しの能力」が低下しているという意見がありますが，あなたはこのことについて，そう思いますか，それともそうは思いませんか。							○													
5	それでは今後，「察しの能力」はどのように意味付けられると思いますか。 (ア)「察し合い」じゃ日本人の築いてきた文化であるから，今後も大切なコミュニケーション能力の一つとして伝えていくべきだと思う (イ)誤解を招くこともあるから，余り相手の「察し」を期待しない方がいいと思う (ウ)これからの時代は，きちんと言葉に出して言うべきだと思う (エ)相手や状況によっては「察し合い」の会話をし，必要に応じてきちんと最後まで言うようにすればいいと思う							○													
6	あなたは，初めて会った人と話をするについて，どのように感じますか。この中から一つ選んでください。 (ア)得意である (イ)どちらかと言えば得意である (ウ)どちらかと言えば苦手である (エ)苦手である SQ1 (ア) (イ)と回答した人→あなたは，初めて会った人と話をするときに，どのようなことを重視していますが。ここに挙げた中にあれば幾つでも選んでください。 SQ2 (ウ) (エ)と回答した人→あなたは，初めて会った人と話をするときに，どのようなことが難しいと感じますか。ここに挙げた中にあれば幾つでも選んでください。																	○			
7	あなたは，誰かの話を聞いていて，その人が言いたかったことと，自分の受け取ったことが，食い違っていたという経験がありますか，それとも，ありませんか。この中から選んでください。 SQ 「(ア)よくある」「(イ)時々ある」と回答した人→それでは，食い違った理由について，当てはまるのはどれですか。この中から選んでください。																		○		
8	あなたは，誰かに話をしている，自分が言いたかったことが，相手にうまく伝わらなかったという経験がありますか，それとも，ありませんか。この中から選んでください。 SQ 「(ア)よくある」「(イ)時々ある」と回答した人→それでは，うまく伝わらなかった理由について，当てはまるのはどれですか。この中から選んでください。																		○		

[illegible]

Ⅱ 外国人とのコミュニケーション

形式 番号	問	い	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
19	あなたは、この1～2年の間に日本国内で、外国人から話しかけられたことがありますか。 SQ1 「(ア)しばしばある」「(イ)時々ある」「(ウ)1～2度ある」と回答した人→あなたが、話しかけられたのは、何語でしたか。 SQ2 「(ア)しばしばある」「(イ)時々ある」「(ウ)1～2度ある」と回答した人→あなたが、外国人から話しかけられたとき、どのように対応しましたか。この中から一つ選んでください。 SQ3 「(エ)全くない」と回答した人→もし、あなたが、外国人から話しかけられた場合、どのように応じると思いますか。この中から一つ選んでください。		○						○							○						
20	外国人の話す日本語は、どのような日本語であるのが望ましいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。 (ア)外国人であっても、日本人と変わらない日本語を話すべきである (イ)外国人だから、意思が通じさえすれば、多少変な日本語でもかまわない (ウ)外国人だから、意思が通じさえすれば、どんな日本語でもかまわない		○																			
21	あなたは、日常生活の中で、書き言葉や話し言葉の使い方はどうあるべきだと思いますか。この中からあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。						○															
22	それでは、外国人が使う日本語についてはどう思いますか。この中から、あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。 (ア)話し言葉も書き言葉も、日本人が使うのと変わらない日本語であるべきだと思う (イ)話し言葉は言いたいことが通じればいいが、書き言葉ではしっかりした日本語を書いてほしいと思う (ウ)書き言葉は言いたいことが通じればいいが、話し言葉ではしっかりした日本語を話してほしいと思う (エ)話し言葉も書き言葉も、外国人が使うものは言いたいことが通じればいいと思う (オ)場合によって違うと思うので、位置が言いは言えない						○															
23	あなたは、国内に住む外国人に対して、何か役に立つことをしたいと思いますか。この中にあなたがしたいことがあれば幾つでも挙げてください。(H26…あなたは、日本に住んでいる外国人に対して、今、何か手助けなどを行っていますか。この中にあなたがしていることがあれば幾つでも選んでください。)								○													○
24	あなたは、日本に住んでいる外国人に対して、今後、何か手助けをするとすれば、何をしたいと思いますか。この中からあなたがしたいことがあれば幾つでも選んでください。																					○
25	近年、日本に在住する外国人が増加していますが、彼らが日本人と会話するとき、どのような言語で行われるのが好ましいと思いますか。															○						
26	あなたは、日常生活の中で、外国人と接することがありますか。この中から幾つでも選んでください。																	○				
27	あなたは、日本に来て間もない外国人と日本語で会話をするとしたら、どのような配慮をする必要があると思いますか。この中から幾つでも選んでください。 (ア)なるべく簡単な言葉を選ぶ (イ)なるべく短い言葉で話す (ウ)はっきりと発音するように心掛ける (エ)ゆっくりと話すように心掛ける (オ)相手がよく理解できるまで繰り返し話す (カ)必要に応じて英語を交えて話す (キ)必要に応じてその外国人の母語を交えて話す (ク)必要に応じて、絵や記号を使ったり、身振り・手振りを交えて話す (ケ)特に配慮する必要はない (コ)その他																		○			
28	あなたは、日本に住んでいる外国人はどの程度日本語の会話ができるか、いいと思いますか。この中からあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。																		○			○
29	あなたは、日本に住んでいる外国人はどの程度日本語の読み書きができるか、いいと思いますか。この中からあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。																		○			○

Ⅲ 国語力について

形式 番号	問 い	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
30	最近、日本人の日本語能力が低下しているという意見がありますが、このことについてあなたはそう思いますか、それともそうは思いませんか。 (1)読む力はどうですか (2)書く力はどうですか (3)話す力はどうですか (4)聞く力はどうですか							○										○			
31	あなたは、日本人の日本語能力について、特にどのような面を向上させる必要があると思いますか。(1)～(5)について、それぞれ挙げられた力の中から選んでください。 (1)読む力はどうですか (2)書く力はどうですか (3)話す力はどうですか (4)聞く力はどうですか (5)総合的な力について							○										○			
32	あなたは、日本人の日本語能力の向上のためには、基盤としてどのような知識を増やすことが必要だと思いますか。この中で特に必要と思われるものを三つまで挙げてください。 (ア)漢字・漢語の知識を増やす (イ)様々な語句、ことわざ、言い回しなどの知識を増やす (ウ)敬語や配慮の表現に関する知識を増やす (エ)文法的な知識を増やす (オ)文学や古典芸能の言葉に関する知識を増やす (カ)その他							○													
33	あなたは、今後、御自分の日本語能力を向上させていくために、どのようなことをしたいと思いますか。この中から幾つでも挙げてください。 (ア)もっと読書に親しむようにする (イ)言葉に関する市民講座などで勉強する (ウ)話し方教室やスピーチコンテストなどを聞いたり、出場したりする (エ)書道、俳句、短歌などに親しむようにする (オ)質の高い朗読や演劇に親しむようにする (カ)手引書などを参考にして、正しい敬語や言葉遣いを心掛ける (キ)基準に従って文字や文章を書くようにする (ク)できるだけまめに手紙や日記などを書くようにする (ケ)言葉に関するシンポジウムなどに参加し、識者の意見を聞く (コ)その他 (サ)特にすることはない							○						○							
34	今後、日本人の日本語能力を向上させていくために、国や自治体はどのような方策を講ずる必要があると思いますか。この中から幾つでも挙げてください。 (ア)成人や高齢者などが言葉について学ぶ機会を提供する (イ)話し方教室やスピーチコンテストなどを開催する (ウ)書道、俳句、短歌などに親しめるような場を提供する (エ)質の高い朗読や演劇に親しめるような機会を提供する (オ)学校教育での国語教育の充実を図る (カ)学校全体が児童・生徒にとって良い言語環境となるようにする (キ)質の高い国語の教員を養成する (ク)国民がもっと読書に親しむように図書館のサービスを向上させる (ケ)言葉に関するシンポジウムなどを開催し、参加を促す (コ)敬語や言葉遣いのモデルを示す (サ)表記の基準や文法の規範を示す (シ)国語の研究の振興を図る (ス)その他 (セ)特に方策を講ずる必要はない							○						○							
35	国語に関わる知識や能力について、あなたは、社会全般においてどのような点に課題があると思いますか。この中から三つまで選んでください。【H14、19調査では、「日本人の国語力について、…」】 (ア)漢字や仮名遣い等の文字や表記の知識 (イ)語句や慣用句等の知識 (ウ)敬語等の知識 (エ)日本の古典についての知識 (オ)論理的に考える能力 (カ)説明したり発表したりする能力 (キ)相手の立場や場面を認識する能力 (ク)他人の話を正確に聴く能力 (ケ)分析して要点をつかむ能力 (コ)考えをまとめて文章を構成する能力 (サ)言葉で人間関係を形成する能力 (シ)その他 (ス)課題になる点は特にない								○					○					○		

[illegible]